

# 建荷協長野支部通信

第2巻第6号

発行日 平成27年4月3日

## 1 常任役員会、理事会開催される

**2月19日**、ホテル国際21において常任役員会が開催されました。冒頭、遠藤支部長から、全国支部長会議で、公益法人化後3年が経過し、内閣府の監査が入るようになるので、経理処理を中心に整備、準備が必要であること述べられた後、議事に入りました。

議事においては、平成26年度の事業進捗について、研修事業関係、支部の現況及び頒布、予算執行の1月末現在の状況が事務局から説明されました。

次いで、地域協議会について、本年度巡回指導の結果報告と1月29日に行った拡大地域協議会会長会議での総括の結果了承された地域協議会設置要綱及び実施要領の改定と次年度実施方針について説明がなされました。

また、就業規則と支部規約の大幅な整理・改定について報告・説明があり、支部規約をさらに整理することについて、意見が述べられました。

各規則、規約とも付属諸規程が大幅に整理され、支部表彰規程が新設され、支部長表彰、感謝状が設けられました。

**3月11日**、ホテルメロポリタン長野において、理事会が開催されました。遠藤支部長のあいさつ後議事に入り、平成26年度の事業進捗状況(研修、頒布、予算執行)が2月末現在で報告され、巡回指導実施結果、地域協議会実施要綱及び実施要領の改定と次年度実施方針が報告されました。また、支部規約と就業規則の大幅な改定・整備についても報告されました。

次に、平成27年度の事業・研修予定について提案があり、従来の研修を踏襲しつつ、危険の見える化セミナーと新規研修の実施について説明されました。また、組織体制の不断の見直し・整備について説明がありました。

以上の報告、説明について承認され、閉会いたしました。



D51形蒸気機関車、通称「デコイチ」。往年の力強い雄姿をいまだ保っています。(後町小学校跡地にあります。)

## 目次：

常任役員会、理事会開催される	1
危険の見える化(リスクアセスメント)検討小委員会開催	2
特定自主検査実施状況報告の提出について	3
平成26年度の労働安全衛生法改正事項	4
事務局だより	5

## ハイライト：

- 平成27年度長野支部定時総会(第33回)を、5月21日(木)午後3時30分から、ホテル国際21において開催します。
- 検査業の皆様—特定自主検査実施報告書を4月中に、長野労働局にご提出ください。
- 会員の皆様—会員登録情報に変更がありましたら、確認書に訂正事項をご記入の上、FAXでご報告ください。
- 高所作業車検査業検査者資格取得研修申込を受け付けています。
- クレーン機能付車両系建設機械安全教育の申込もまもなく開始します。

## 2 危険の見える化(リスクアセスメント)検討小委員会(平成27年第2回)開催

3月4日、建荷協長野支部事務局において第2回「危険の見える化(リスクアセスメント)」検討小委員会を開催しました。

5Sの事例を、典型4事例に絞り、それぞれに対する5Sの観点からの問題点と対策を洗い出すという仕方、だれもがわかり易く取り組みやすい形式とすることとし、写真例を作成することとしました。

KY事例については、従来のものを使用し、リスクアセスメント事例については、実際の災害を基にそれを連想させるシナリオに沿った事例を実機で再現し、写真撮影を行うこととしました。

また、本部の佐々木調査部長及び安全コンサルタントと当支部検討小委員会が4月16日に当支部で意見交換を行い、本部とも連携しながら進めて行くこととしています。

# 平成

27年度研修

実施予定は別添のとおりです。会場等の都合で日程を変更する場合があります。

ご案内は2か月前に郵送で差し上げますが、当支部ホームページにおいても同じ内容を掲示してありますので、ダウンロードしてご使用ください。

人間は誤りを犯すものである

## Q&Aコーナー

**Q:**農業高校の実習で使用しているミニバックホー（油圧ショベル）の特定自主検査は必要か？また、農家からも同様の疑義があるが如何。

**A:**特定自主検査の実施は事業者に対して義務付けられています。したがって、特定自主検査の対象事業者になるかという問題になります。

県立の農業高校の場合、地方自治体が所有し、自ら使用する建設機械であり、それをその労働者たる教官等に使用させることとなります。ゆえに、地方自治体には事業者性が認められ、特定自主検査が必要となります。

同じく農家で油圧ショベルを所有し使用する場合で、労働者を使用しないで経営者自らが運転する場合には特定自主検査の対象事業者とならず、特自検の法的義務付けはありません。労働者を使用する場合には必要となります。

いずれにしても、安全確保上の観点からは、定期的に特定自主検査を実施することが望ましいことはいふまでもありません。

## 3 特定自主検査実施報告書の提出について

検査業者は、労働安全衛生法及び登録省令第19条の21(定期報告)の規定に基づき、4月1日から翌年の3月31日までの間に行った特定自主検査の状況について、その年の4月30日までに特定自主検査実施報告書を所轄の都道府県労働局長に提出しなければならないことになっています。

検査業者の皆様には既に当支部からご案内を差し上げておりますが、期限内にご提出いただきますようお願いいたします。

報告書の所定様式は当支部のホームページからダウンロードできますのでご利用ください。

## 4 平成26年度の労働安全衛生法改正事項

平成26年度中に行われた労働安全衛生法の改正は次の7項目です。

(1)化学物質管理にリスクアセスメントが義務付けられた。(①安全データシート(SDS)等を通じてその物質の危険性・有害性を確認し、②使用量や取扱方法によってどんな災害を発生するおそれがあるか想定し、③発生した場合の重篤度、社会への影響を見積もる)

(2)ストレスチェック及び面接指導の義務付け。(①規模50人以上の事業場は医

師、保健師等によるストレスチェックを行い(気付きを促す)、②申出に応じて医師による面接指導及び適切な就業上の措置を講ずる)

(3)受動喫煙防止対策の推進(全ての事業者に職場の全面禁煙又は分煙化義務化)

(4)~(7)は省略します。詳しい内容は厚生労働省ホームページをご参照ください。当支部のホームページにリンクを張っております。

## 5 事務局だより

スペインのバルセロナを飛んだジャーマンウイングス社のエアバス320型機が乗客乗員150人を乗せたまま、フランス南部の山岳地帯に墜落した。

ボイスレコーダ等の解析によると、少し遅れて出発した同機は、巡航状態になり自動操縦モードに切り替えたところで機長がトイレに立ち副操縦士に運転を代った。コックピットで一人になった副操縦士は機体を下降させるボタンを作動させた。「今回のような機体の急降下には、何度もボタンをひねらねばならず、意図的な行為だった」とのことである。

テロ対策のため、コックピットの鍵は内側からしか開けることができない構造となっており、機長はコックピットから締め出され、非常用の斧でドアをこじ開けようとしたが間に合わず、客室の悲鳴の騒然とした音や携帯電話の映像が記録されてい

るとのことである。

副操縦士は精神疾患があり、自宅には病気のため「勤務不可」の診断書が破り捨てられていたとのことである。副操縦士は自らの精神疾患について航空学校に報告しており、会社は過去の精神疾患を把握しながら旅客機に乗務させていたことになり、管理体制が問われることになりそうである。

欧州航空安全局は「操縦室には常時2人」のルール化を航空各社に勧告した。

「想定外」ということがあるが、最先端の複雑システム系であればこそ、人間そのものの初歩的な欠陥によって大事故に至ることを想定する必要がある。

組織のメンタルヘルス対策の重要性を痛感させられる大事故である。

## 平成 27 年度研修実施予定

研修・教育の種類	機種	検査業 事業内別	日時	場所	備考
検査者 資格取得研修	高所作業車 (定員 30)	検査業	6月10日(水) ～12日(金)	長野地域職業 訓練センター	
検査者 資格取得研修	フォークリフト (定員 30)	検査業	7月7日(火) ～9日(木)	長野地域職業 訓練センター	
検査者 資格取得研修	整地運搬積込み用・掘削用及 び解体用(定員 30)	検査業	9月7日(月) ～9日(水)	長野地域職業 訓練センター	
検査者 資格取得研修	フォークリフト (定員 30)	事業内	11月10日(火) ～12日(木)	長野地域職業 訓練センター	
能力向上教育	高所作業車 (定員 50)		10月21日(水)	長野地域職業 訓練センター	
能力向上教育	フォークリフト (定員 50)		10月8日(木)	ポリテクセン ター松本	
能力向上教育	整地運搬積込み用・掘削用及 び解体用(定員 50)		9月25日(金)	ポリテクセン ター松本	
安全教育	クレーン機能付き車両系建設 機械(定員 50)		6月24日(水)	長野地域職業 訓練センター	
実務研修	検査記録表作成コース (定員 30)		7月22日(水)	ポリテクセン ター松本	
実務研修	業務点検コース (定員 50)		7月16日(木)	長野地域職業 訓練センター	
実務研修	月次定期自主検査(フォーク リフト)(定員 50)		未定	未定	新規
特別教育	フォークリフト 1t 未満運転 (定員 30)		10月13日(火)～14日(水)	長野地域職業 訓練センター	
研修	事業内検査者実務研修 (定員 100)		10月28日(水)	ポリテクセン ター松本	
研修	事業内検査者実務研修 (定員 100)		11月4日(水)	長野地域職業 訓練センター	
セミナー	リスクアセスメント (定員 30)		8月4日(火)	ポリテクセン ター松本	

(注) 都合により日程等変更する場合があります。